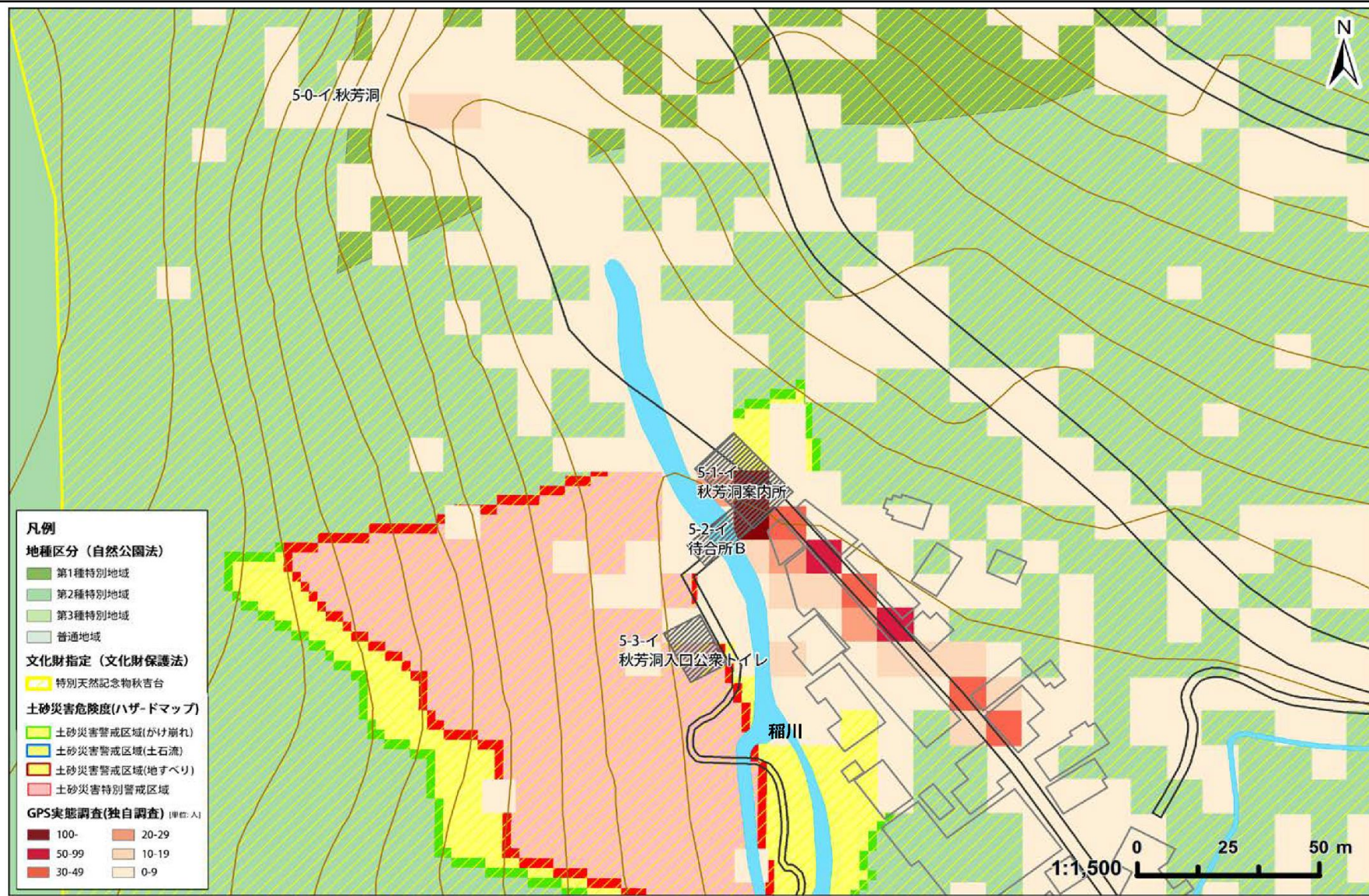


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
-------	-------

イ	秋芳洞入口
---	-------

エリアの位置づけ

・秋芳洞の正面玄関にあたる秋芳洞入口は、年間入洞者の7割弱の入洞口であり、観光客が最も集中する場所の1つ。  
 ・秋芳洞商店街、秋芳洞の中間に位置し、秋芳洞案内所、待合所B、秋芳洞入口公衆トイレが立地している。

エリア周辺の状況

・秋芳洞案内所には、半屋外の屋根下に観覧券発売所、休憩スペース、秋芳洞にまつわる展示スペースがある。  
 ・秋芳洞案内所の建築年数（48年）は長く経過していることもあり、施設デザイン、展示物の掲示方法から、「昔ながらの観光地」といった印象を与えている。  
 ・待合所Bは稲川の橋梁。秋芳洞内部から第2駐車場につながる河川遊歩道の景観は良好である一方、商店街の民地建物は河川に背を向けており、改善を要する。

ポータルフォリオ分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

・5-0-イ秋芳洞（関連施設）、5-1-イ秋芳洞案内所は、非常にハード評価は低いながらもソフト評価が高く、優先的にハード面を含めた施設整備を行うことが望ましい。  
 ・5-2-イ待合所Bは、全施設中ハード評価が最下位である。秋芳洞案内所に隣接し観光客が集中する立地的ポテンシャルは高いことから、秋芳洞案内所と一体的な整備を検討することが望ましい。  
 ・5-3-イ秋芳洞入口公衆トイレは、ハード評価はやや高いが、ソフト評価のうち、特に利用状況が2割程度と低く、ピーク需要に対し便器数が過剰であるといえる。便器数を減らし、バリアフリー対応のブースを増やす等の活用可能性が考えられる。  
 ・土砂災害特別警戒区域は、有事に利用者の生命に危険が及ぶ可能性が高い。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

・秋芳洞のメインゲートであり重要な位置づけにあることから、秋芳洞観光の目指すべき方針に沿い、展示物を含めたソフト・ハード面双方での優先的な整備検討が必要である。  
 ・秋芳洞商店街、秋芳洞はもちろんのこと、良好な自然景観である稲川遊歩道を活用した、一体的な景観整備や動線検討の可能性が考えられる。

管理番号-棟番号-エリア番号	5-0-イ	5-1-イ	5-2-イ	5-3-イ	エリア総合	全施設平均
施設名称	秋芳洞	秋芳洞案内所	待合所B	秋芳洞入口公衆トイレ		
ハード評価	老朽化判定	28.7	36.9	20.0	35.6	
	建築年数	0.0	10.7	10.7	29.5	
	災害危険度	12.5	12.5	0.0	0.0	
	耐震性能	15.0	0.0	0.0	50.0	
	バリアフリー性能	0.0	0.0	0.0	12.5	
合計	11.2	12.0	6.1	25.5	13.7	21.3
ソフト評価	経済的評価	50.0	50.0	14.4	8.3	
	利用状況	17.6	16.7	0.0	11.9	
	実態調査	50.0	32.7	2.3	0.4	
	満足度調査	17.0	17.0	17.0	17.0	
	合計	33.6	29.1	11.2	9.4	20.8